

令和2年度(2020年度)の池工版デュアルシステム研修はコロナ禍の影響により8月の夏季休業中からの開始となり、想いを膨らませた研修生が満を持して研修に望みました。研修先では例年の約半分となった期間でも充実した研修となるように充実した内容をご検討いただき執り行っていただいています。

さて、昨年度末までの2年間をかけて新たな取り組みとして、複数企業での連携を行い、大糸線に以前運行していた「特急あずさ、E257系」の車両モデルの製作制御を行いました。完成作品を池田町交流センター「かえで」に寄贈し、現在は児童生徒をはじめ町民の皆様楽しんでいただいています。本年度に入り、デュアルシステム推進委員会で新たな共同製作の提起がなされ、高齢者が気軽に利用でき、脚力の維持もできるように足こぎ機能も付いた電動カート(電気動力で乗用する車)を製作することとなり、事業を進めています。

その中で、池田町社会福祉協議会様からのご提案で、高齢化社会から福祉・介護分野の未来を拓くイノベーションを趣旨としたコンテスト、「信州共生みらいアイデアコンテスト2020」に池田工業高校として参加し、「福祉を考える企業の会 会長賞」を受賞することができました。コンテストの概要を以下のとおり報告します。

参加チーム名	池工版デュアルシステム グランメゾン池工ワンチームカート
タイトル	グランメゾン池工ワンチームカート製作



製作工程

1 社協でデュアル研修生徒

- 施設利用者からカート利用にあたっての意見聴取
スタート・ストップ手段情報採取
着座位置、姿勢の情報採取
- 利用者による社協ニュース版作成指導 制作物掲示
- カート利用の手ほどき

2 製作担当(デュアル研修参加生徒・企業)

- ・ カート設計(企業担当 協力企業)
- ・ カート製作(研修生 企業担当 協力企業)
- ・ 可動制御(研修生 企業担当 協力企業)
- ・ 電動パーツ製作(研修生 企業担当 協力企業)

研究発表

- 1 社会福祉大会、地域工業まつり等
- 2 ニュース報道(新聞、ニュース、地域紙、民放・ローカル TV など)
- 3 社協ニュース発信



県下、高校、専門学校、短大、大学から80チームのエントリーがあり9月の一次審査で13チームが二次審査の対象作品となりました。本校は、初参加ながら、企業、団体、地域、大学との連携が認められ二次審査対象作品となりました。

10月の二次審査には、企画案動画(プレゼンテーション)審査とのことから、池田小の小学生、池田町社協の皆様にも参加いただき素晴らしい動画を作り審査いただきました。



11月3日「信州ふっころフェスティバルにおいて審査発表がありました。コロナ禍によりオンラインでの表彰となりましたが、「福祉を考える企業の会会長賞」を受賞することができました。関係の皆様方に改めて感謝申し上げます。

今後もこの電動カート製作にご期待とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

